

南地域交流センター（仮称）基本構想

令和7年7月

福岡市

目 次

I 背景

- 1 基本構想策定の目的
- 2 南地域交流センター（仮称）の必要性

II 整備予定地の概要

- 1 整備予定地の概要

III 基本的な考え方

- 1 基本理念
- 2 機能・整備の視点
- 3 諸室等
- 4 運営の視点
- 5 ゾーニング

IV 今後の検討事項

- 1 今後の検討事項

V 参考資料

- 1 既存の地域交流センターの概要
- 2 地域の意見

I 背景

1 基本構想策定の目的

地域交流センターは、福岡市地域交流センター条例（平成 11 年福岡市条例第 8 号）において、「地域コミュニティの活性化に資するとともに、文化及びスポーツの振興並びに地域福祉の向上に寄与する」ものとされており、市民センターなどの区単位の行政サービスを補完する施設として、図書館分館を併設し市内 4 か所に整備されています。

『南地域交流センター（仮称）基本構想』は、新たに南区西南部地域に整備する地域交流センターについて、その必要性や整備予定地の概要、整備の基本的な考え方を示すものとして策定するものです。

2 南地域交流センター（仮称）の必要性

（1）南区の概況

福岡市の南部に位置する南区は、東区に次いで人口が多く、自然環境に恵まれた住宅・文教地区で、閑静な戸建住宅や大規模団地が区内全域に広がっています。

油山や鴻巣山、桧原運動公園、高宮南緑地、桧原桜公園などの魅力的な公園や緑地、那珂川や野多目大池をはじめとするため池や古墳、老司瓦窯跡など、身近な自然環境や歴史資源に恵まれ、多くの市民に親しまれています。

西鉄大橋駅から高宮駅の周辺には、行政、医療等の公共公益施設や商業サービス施設など多様な機能が充実し、大学・短大や日本語学校、男女共同参画推進センター、南市民センター、塩原音楽・演劇練習場などの文教施設も多く立地しています。

また、長住・花畑地域には、日常生活に必要な商業機能やサービス機能などが集積しており、周辺的生活圏域の中心となっています。

道路交通網については、都心から都市圏南部へ至る高宮通りや日赤通り、那珂川市方面へ至るみやけ通りのほか、屋形原須玖線や外環状道路、長浜太宰府線や御供所井尻線の整備などにより、幹線道路のネットワークが形成されています。

地域コミュニティについては、25 の自治協議会、320 の自治会・町内会（令和 7 年 4 月 1 日時点）があり、防災訓練、運動会（体育祭）、夏祭りなど、多様な世代の交流を促す地域活動が盛んに行われているほか、清掃活動や資源物の回収、通学路の子どもの見守りなどの日常的な活動も活発に行われています。

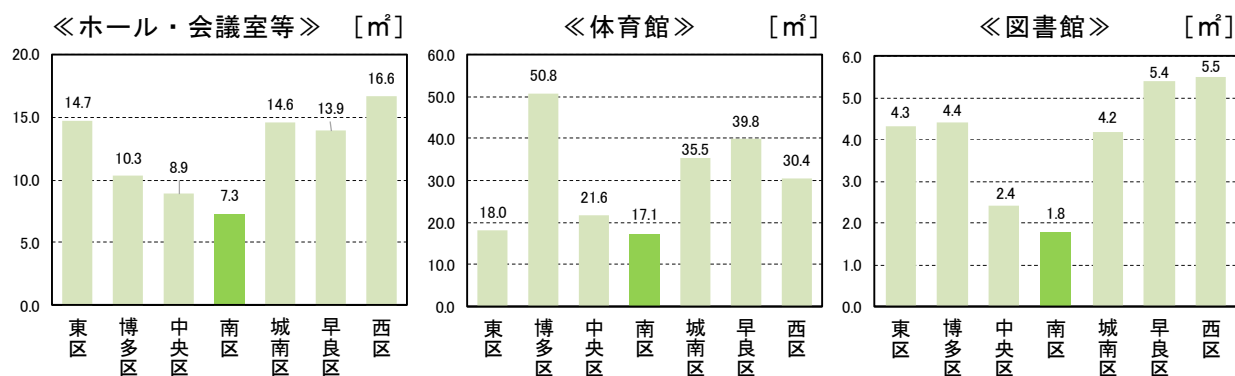
(2) 南区の課題

① 地域活動を支える区単位の行政サービス施設の状況

南区は、東区に次いで人口が多くなっていますが、区単位の行政サービス施設の立地が少なく、地域交流センターの基本機能である「ホール・会議室等」、「体育館」、「図書館」の人口千人あたり床面積は、南区が全市で最も低くなっています。

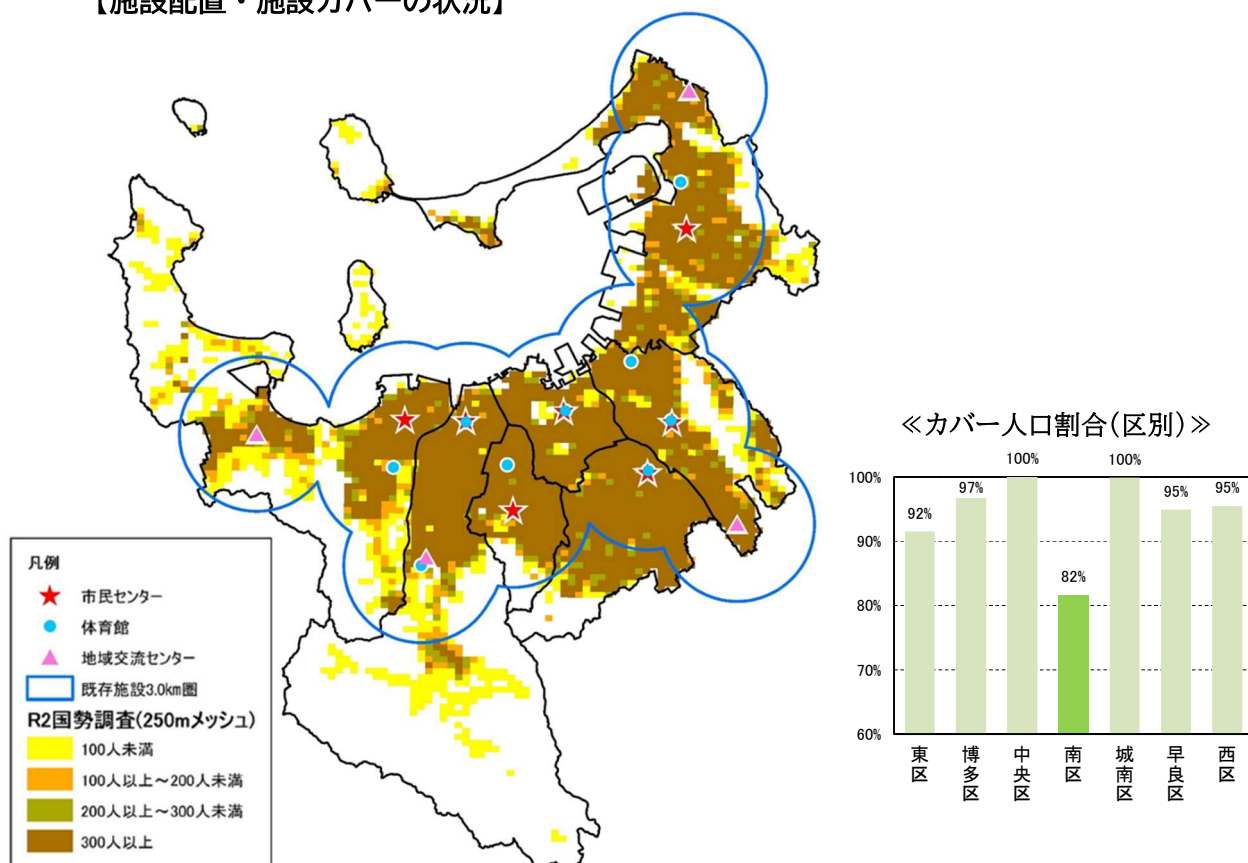
また、南区の西南部地域は、比較的人口密度が高いなか、各施設のカバー範囲（3 km）外となっているエリアが多く、令和2年国勢調査の250mメッシュデータに基づく各施設のカバー人口（利用圏域3 km）を区別に比較すると、既存施設のカバー人口割合は、他区は90%以上となっていますが、南区は82%となっています。

【人口千人あたり床面積】



(注) 上記には市域に1つの施設である総合図書館・総合体育館の面積は含んでいない。

【施設配置・施設カバーの状況】



② 公共交通の状況

南区は、北東部に鉄軌道が位置し、西南部地域は西鉄天神大牟田線からも遠く、路線バスが主体の交通体系となっています。

南区における区単位の行政サービス施設の多くは、北東部（大橋地区）に立地していますが、西南部地域から北東部（大橋地区）へ向かうためには、乗り継ぎが必要なバス停や直行便利用で30分以上要するバス停が多くなっています。

③ 高齢化の状況

南区の高齢化率は全市平均より高く、特に、北東部に立地する南市民センター等のカバー範囲（3km）外を含む西南部地域11校区（平均29.2%）は高くなっています。

■ 高齢化率（R2国勢調査）

福岡市 22.1%				西南部地域 11 校区 平均 29.2%			
東 区	22.3%	博多区	18.2%	花 畑	27.0%	臼 佐	22.7%
中央区	18.6%	南 区	23.2%	長 住	30.7%	西花畑	27.4%
城南区	24.8%	早良区	24.0%	東花畑	32.7%	弥永西	25.2%
西 区	24.2%			野多目	27.2%	柏 原	30.8%
						老 司	31.1%
						弥 永	34.8%
						鶴 田	31.9%

（3）南地域交流センター（仮称）整備の必要性

南区は、区単位の行政サービス施設の立地数、「ホール・会議室等」「体育館」「図書館」の千人あたりの床面積、カバー人口割合が他区と比較して少なく、特に西南部地域は、比較的人口密度が高いなか、既存施設のカバー範囲外となっているエリアが多くなっています。

また、高齢者の割合も高く、南市民センター等が立地する北東部（大橋地区）へのバス交通が不便となっています。

これらのことから、南区の西南部地域に区単位の行政サービスを補完する施設である「地域交流センター」の整備が必要となっています。

（4）上位計画における位置づけ

第10次福岡市基本計画（令和6年12月策定）において、人々の暮らしを見守り支えてきた身近な地域コミュニティが今後も活動を続けていけるよう、地域交流センターの整備に向けた検討を進めることとされています。

第10次福岡市基本計画（令和6年12月策定）

目標3 地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心に暮らしている

施策3-2 生活の利便性が確保された地域のまちづくり

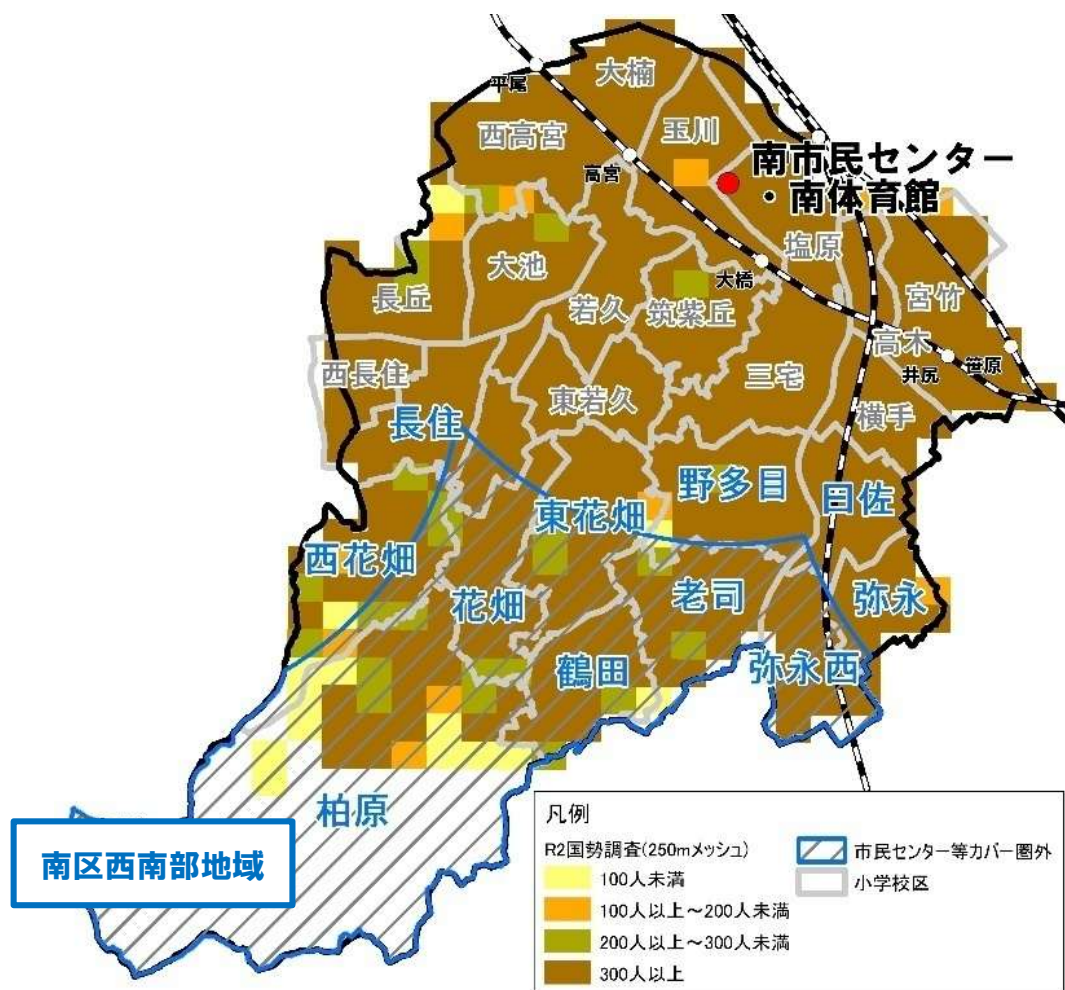
区役所や、地域コミュニティ活動の場として活用されている公民館、市民センター、地域交流センターなど、公共施設の充実・機能強化や多様な施設間の連携を図るとともに、持続可能な生活交通の確保や買い物支援に取り組むなど、それぞれの市民が住み慣れた地域における生活の利便性向上に取り組めます。

南区のまちづくりの目標 みんながつながり、安らぎ、輝く 暮らしのまち・南区

取り組みの方向性 お互いが支え合い、健やかにくらせるまち

人々の暮らしを見守り支えてきた身近な地域コミュニティが今後も活動を続けていけるよう、（中略）地域交流センターの整備に向けた検討を進めます。

【南区西南部地域】



Ⅱ 整備予定地の概要

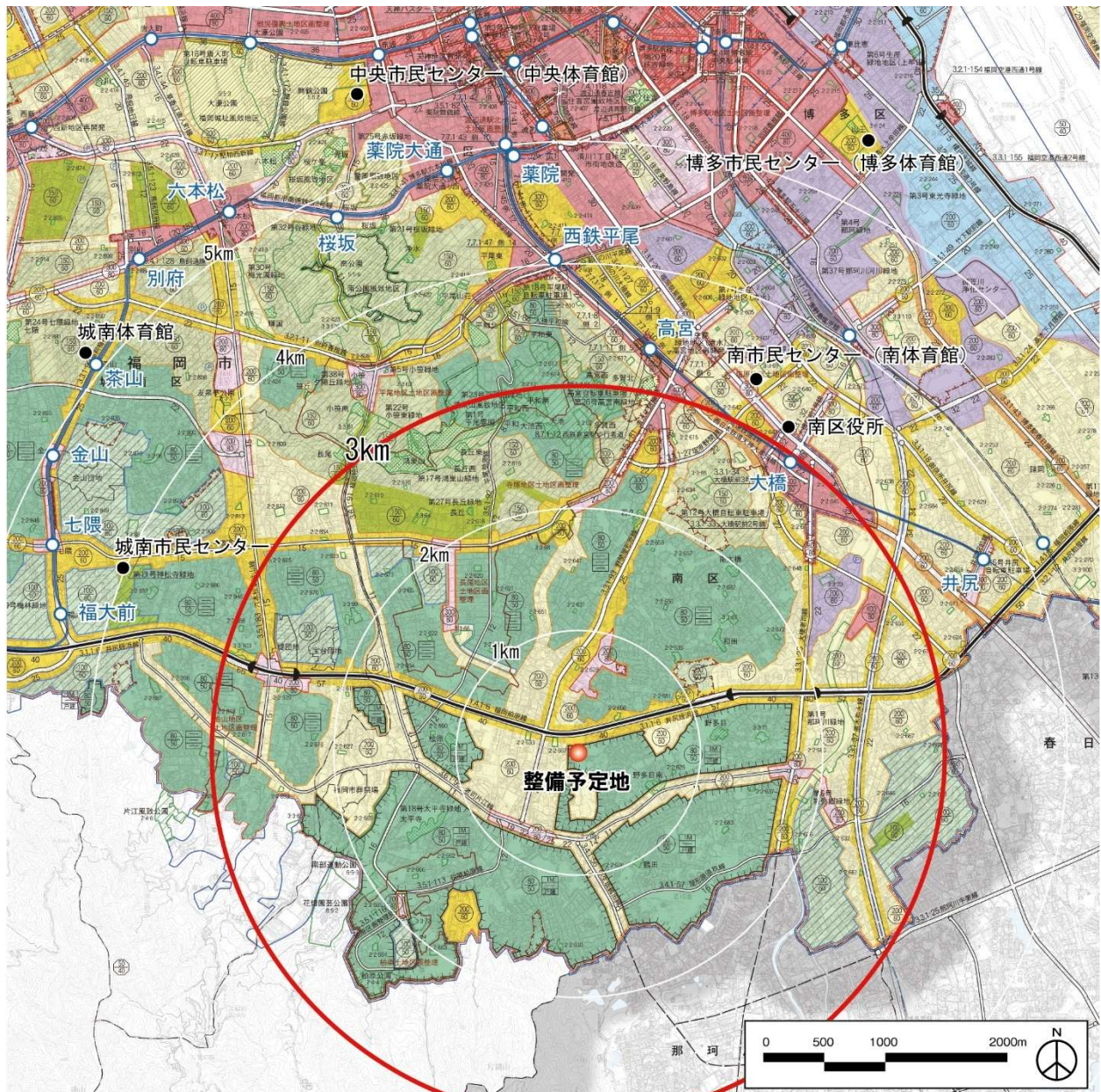
1 整備予定地の概要

南地域交流センター（仮称）（以下「本施設」という。）については、「若久池（南区屋形原1丁目）」を造成し整備予定地とします。

（１）位置

整備予定地は、南区西南部地域の概ね中央部に位置し、南区西南部地域全体が地域交流センターの利用圏域である半径3 km内に概ね包含されています。また、南区西南部地域を東西に貫く主要な幹線道路である外環状道路沿いに立地しており、自動車でのアクセスが良好な場所に位置しています。

【広域図】



(2) 概況

所在地	福岡市南区屋形原一丁目
敷地面積	約2.0ha
地目	ため池
所有者	福岡市
接道	東側：市道屋形原1738号線（幅員10m～11m） 南側：市道屋形原1757号線（幅員13m～17m）

※洪水浸水想定区域、津波浸水想定区域、高潮浸水想定区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域いずれにも指定されていません。

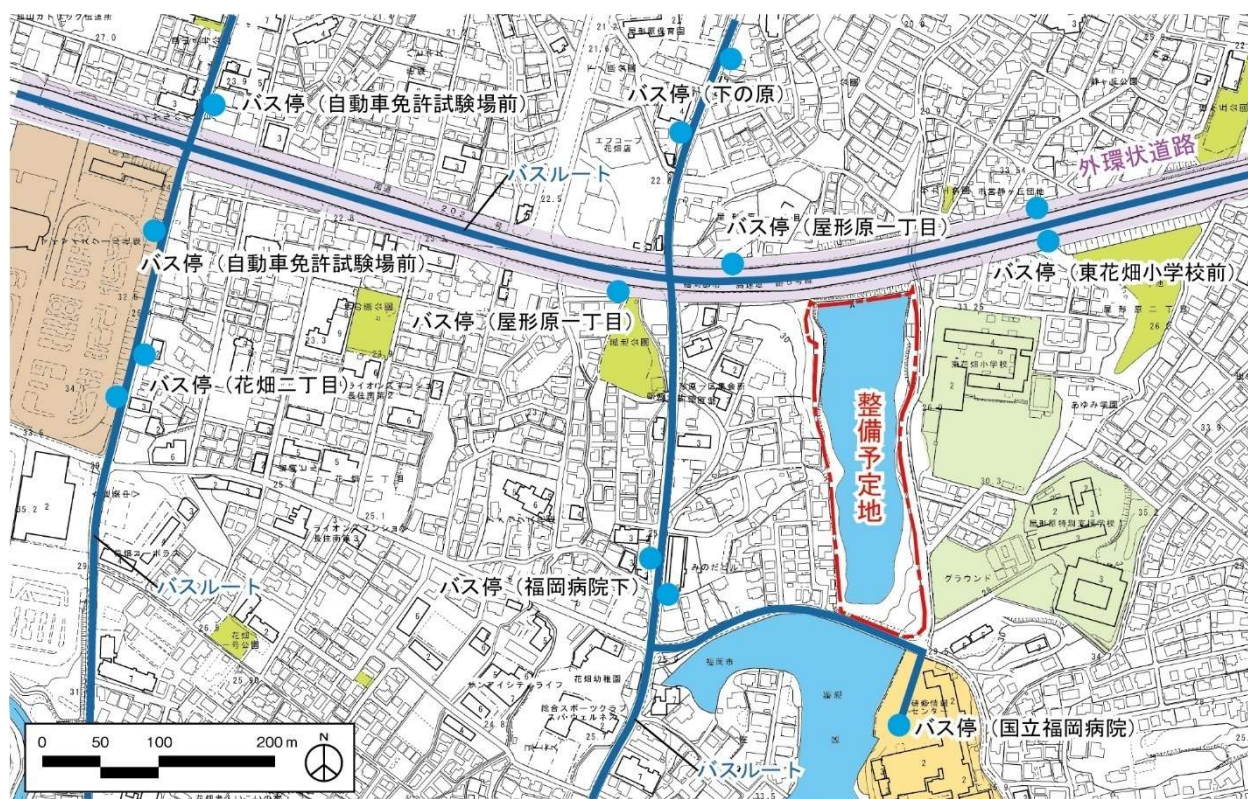
※「花畑C遺跡」の埋蔵文化財包蔵地の隣接地に含まれているため、工事にあたっては事前照会・届出が必要になります。

(3) 周辺状況

整備予定地の東側に教育施設（福岡市立東花畑小学校及び福岡市立屋形原特別支援学校）、南側に医療施設（国立病院機構福岡病院）が立地しています。

また、整備予定地から徒歩1分から10分程度の範囲に複数のバス停が立地しています。

【周辺図】



(4) 用途地域等

- 第二種住居地域（建ぺい率 60%、容積率 200%）、第二種 20M高度地区
- 第一種低層住宅専用地域、戸建住環境形成地区（建ぺい率 40%、容積率 60%）

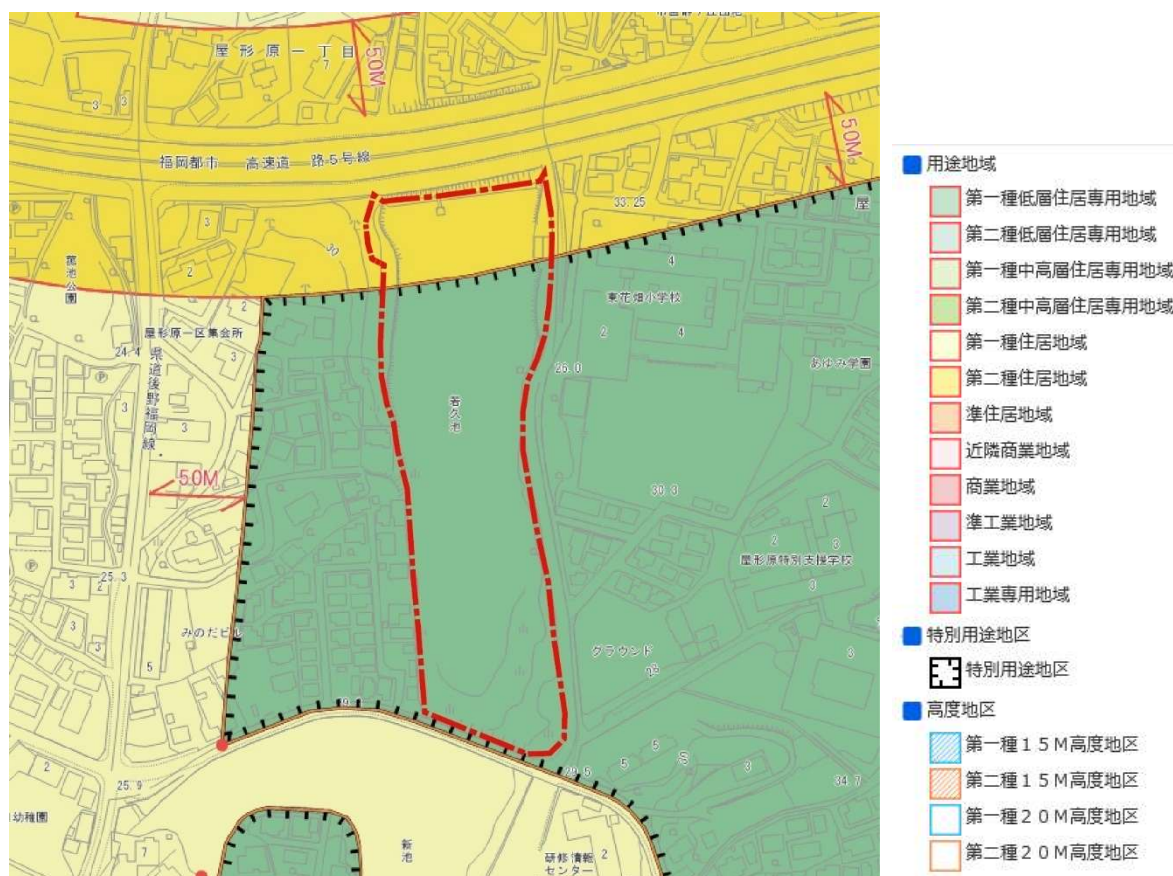
※用途制限

整備予定地の用途地域には、建築できる建築物に「多目的ホール」が含まれないことから、建築基準法第 48 条但し書きに基づく建築許可が必要となります。

※高さ規制

「第一種低層住居専用地域」には、10mの建築物の高さの最高限度が定められていることから、建築基準法第 55 条第 4 項に基づく建築許可が必要となります。

【都市計画図】



Ⅲ 基本的な考え方

1 基本理念

本施設では、文化やスポーツ等を楽しむ交流の場や自分らしい時間を過ごす憩いの場を提供し、人と人とがつながり、共創による地域コミュニティの活性化や地域の魅力向上につながる施設を目指します。

また、地域に不足する近隣公園を一体的に整備することで、緑や花が持つ魅力により、憩いや安らぎが感じられる、様々な地域活動の拠点を目指します。

地域からの主な意見

- ・くつろぎ空間や自由に出入りできる交流の場にしてほしい。
- ・子どもの居場所になってほしい。
- ・各種団体活動の活性化や地域を越えての活動ができる施設にしてほしい。
- ・避難所としての活用を見据えた施設にしてほしい。
- ・行政手続きができるようにしてほしい。
- ・良好な交通アクセスや駐車台数を確保してほしい。

2 機能・整備の視点

(1) 交流機能

文化やスポーツ、様々なイベントを通じて多世代交流や多文化共生を促進する『交流機能』として、「多目的ホール」「会議室等」「体育館」を整備します。

【整備の視点】

- 多世代が交流する開かれた施設
- 様々な目的・交流に対応する可変性のある施設

(2) 図書館機能

誰もが気軽に立ち寄ることができる場所を提供し、学びを促進する『図書館機能』として、「図書館分館」を整備します。

【整備の視点】

- 利用者が本に楽しく触れることができる施設

（３）憩い・賑わい機能

緑や花に囲まれ、誰もが自分らしい時間を過ごすことができる憩いの場であるとともに、人と人、各空間とをつなぎ新たな賑わいを創出する『憩い・賑わい機能』として、「市民ロビー」「多目的スペース」「チャイルドルーム」「屋外広場」を整備します。

【整備の視点】

- 公園、屋外広場と一体となった緑や花に彩られた施設
- あらゆる世代の方が好きな場所で自分らしい時間を過ごせる施設
- イベント等を通じて多様な利用者をつなぎ新たな賑わいが生まれる施設

（４）管理機能

本施設の管理運営を行う『管理機能』として、「事務室」「共用部等」を整備します。

【整備の視点】

- 施設スタッフが施設全体を管理しやすく効率的に運営できる施設

（５）防災機能

『防災機能』として、災害時の避難所としての利用を想定するとともに、「防災備蓄倉庫」を整備します。

【整備の視点】

- 災害時でも安心して過ごせる施設

（６）施設全体の整備の視点

- 子どもから高齢者までの幅広い年齢層の方や、障がいのある方、認知症のある方、妊娠している方、小さい子どもを連れている方、外国人など、あらゆる方々が利用しやすい、ユニバーサルデザインの理念に基づくみんなにやさしい施設
- 快適なインターネット環境など、利用者のニーズに対応した施設
- 花や緑があふれ、住民が身近に自然の潤いと安らぎを感じられる魅力的な施設
- ZEB 化による省エネ性能の確保や再生可能エネルギー技術の活用、地域産材をはじめとした木材利用など、環境負荷低減に配慮した施設
- 長期にわたり利用者等が安全・快適に利用できる、維持管理が容易なライフサイクルコストに配慮した施設
- 風水害や地震などの自然災害に対して、十分な安全性を備え、地域の避難所としての役割を果たす施設

3 諸室等

(1) 交流機能

① 多目的ホール

【機能の考え方】

- 南区では、民舞やキッズダンスなど、様々な文化活動が盛んに行われており、日頃の成果を発表する場にふさわしい空間とします。
- 既存の地域交流センターと同様に地域のイベントなどに対応する適切な規模として、客席は、300 席程度を確保するとともに、多目的に利用できるよう可動席とします。
- 大音量の音楽や演劇、ライブ配信など様々なイベントや形態に対応できるように、適切な防音性能の確保や音響・照明設備の整備を検討します。
- ホワイエや楽屋などのバックヤード機能の充実、バリアフリートイレや車いす使用者等に配慮した舞台への動線などを検討します。

【利用イメージ】

- 民舞、ダンス、音楽、演劇などの発表会。
- 地域向け講演会やワークショップなど。



② 会議室等

【機能の考え方】

- 利用者の様々な「やりたい」を実現し、交流が生まれる空間とします。
- 公民館にはない 100 人規模の広い会議室を確保するとともに、用途に応じて可動式間仕切りで分割しても使用できるよう検討します。
- 会議などで使用できるプロジェクターやスクリーン、マイク・スピーカーなどの設備やインターネットに接続できる環境を備えます。



- 健康体操や楽器、演劇、ダンス等の練習などにも対応できるよう、適切な防音性能の確保や鏡の設置などについて検討します。
- 茶道等の日本の伝統文化活動への対応について検討します。
- 乳幼児健診を想定した手洗い場や食を通じた交流ができる簡易キッチンの設置などについて検討します。

【利用イメージ】

- 地域団体等による会議、生涯学習、講習会等。
- 健康体操や楽器練習など。
- 乳幼児健診の会場。



③ 体育館

【機能の考え方】

- スポーツ活動や健康づくり・体力づくりなどを気軽に生涯にわたって楽しみ、交流できる空間とします。
- 中学校体育館程度（バスケットボールコートなら1面、バレーボールコートなら2面、バドミントンコートなら4面程度）の広さを確保します。
- 冷暖房を完備するほか、コインロッカー、シャワー室等を完備した更衣室を設置します。
- スポーツの相談に応じるスポーツ指導員が在室し、適切な利用環境のもとにトレーニングができるトレーニングルームを設置します。



【利用イメージ】

- 地域のスポーツチーム・サークル等の練習や交流試合。
- 健康づくりに関する教室、イベントの開催。
- 個人で利用する気軽なスポーツや健康づくり、トレーニング。



(2) 図書館機能

① 図書館分館

【機能の考え方】

- 開館当初約 6 万冊程度を蔵書する計画とし、
広々としたスペースで誰もがゆっくり読書を楽しむことができる空間とします。
- 福岡市の各図書館とのネットワークを構築し、
図書の閲覧や貸出がしやすい施設とします。
- 一般書架の他、児童書架、閲覧コーナー、児童
コーナー(読み聞かせスペース)を設けるなど、
様々なジャンルの図書を揃え配置します。

【利用イメージ】

- 読書、地域の歴史文化等の情報収集。
- ボランティア団体による読み聞かせの開催。
- 図書館資料を活用した外部講師を招いた講演
会や相談会。



(3) 憩い・賑わい機能

① 市民ロビー

【機能の考え方】

- 開放的なエントランス空間とし、ソファやテーブルなどを適度に配置します。
- イベント時には、屋外広場等と一体となった誰もが気軽に参加できる賑わい空間とします。
- 桧原桜のエピソードや歴史資源などの地域の魅力を発信するスペースのほか、地域住民や学生のアート作品の発表の場及びアートに触れる場となる展示スペースを設けます。
- 自動販売機スペース、簡単な飲食ができるカフェスペースなどを検討します。

【利用イメージ】

- 待合せや休憩、アート鑑賞など。
- ロビーコンサートや物販など。



② 多目的スペース

【機能の考え方】

- 子どもから高齢者まで来館者が自分らしい時間を過ごすことができる居心地のよい空間とします。
- 学習スペースや少人数での趣味・娯楽が気軽に楽しめるフリースペースなど、多目的な活用ができるスペースを検討します。



【利用イメージ】

- 読書や学習など。
- 卓上ゲームや囲碁・将棋など。

③ チャイルドルーム

【機能の考え方】

- 子どもとその保護者が自由に遊ぶことができ、子どもを中心に大人同士のつながりも生む空間とします。
- 事務室や市民ロビーから見通すことができる開放的な空間とします。
- 子どもが安全に遊べる床、玩具等の設置について検討します。
- 多目的ホールなどでのイベント時の託児など、一部のスペースをイベント主催者が利用可能となるような仕様について検討します。
- 授乳やオムツ交換のスペースのある「赤ちゃんの駅」を設置します。



【利用イメージ】

- 乳幼児親子の気軽な遊び場。
- 子ども向けイベントの開催。



④ 屋外広場（交流プラザ）

【機能の考え方】

- 市民ロビーや公園と一体的に、憩いや各種イベントに活用できる空間とします。
- 公園との調和や回遊性に配慮した配置やデザインを検討します。
- 屋外でのイベント等に有効なスペースとなるよう雨天時への対応についても検討します。

【利用イメージ】

- 地域のお祭りやイベント。
- 地域団体・民間企業等と連携したマルシェなど。

（４）管理機能

① 事務室

【機能の考え方】

- 施設の利用受付を行う受付カウンターを置きます。
- 施設管理のための中央監視盤、防犯カメラのモニターなどを設置し、利用者が安心して利用できる環境整備を行います。
- 施設職員が執務や施設管理を行うのに必要な空間のほか、職員の更衣・休憩スペースなどを確保します。

② 共用部等

【機能の考え方】

- 階段・廊下・エレベーター等の共用部は、福岡市福祉のまちづくり条例などに基づき、高齢者、障がい者等が安全かつ円滑に利用できる仕様とします。
- 一般用エレベーター及びバックヤードに設置する貨物用エレベーターは、２階以上に配置される諸室の種類規模に応じたものとします。
- 色の組み合わせや明るさ、サイン・目印等は、認知症の人にもやさしいデザインを取り入れます。
- 各階の施設配置状況等に応じて必要となるトイレスペースを確保するほか、高齢者、障がい者、乳幼児連れなどあらゆる方々に配慮したトイレを設置します。
- 施設の管理運営に必要となる倉庫を適宜確保するほか、空調機器や電気機器などを配置する機械室などを備えます。
- 本施設周辺の公共交通の状況等を踏まえ、相当台数の駐車場、駐輪場を確保するとともに、円滑な入出庫のための適切な自動車の出入口の数や配置を検討します。

(5) 防災機能

① 防災備蓄倉庫

【機能の考え方】

- 南区内は警固断層が縦断していることもあり、地域の防災意識が高く、防災訓練などが積極的に行われています。
- 災害時に避難所として利用されることを想定し、設備等を検討します。
- 災害発生時に必要となる食料、飲料水、簡易ベッド、簡易トイレ、毛布、間仕切りパーティション等の備品等を収納する必要規模の防災備蓄倉庫を検討します。
- 避難時にも温かい食事が提供できる簡易キッチンやかまどベンチ、トイレや清掃等の生活用水の確保のための貯水槽等のほか、マンホールトイレや非常用電源設備、避難スペースとなる諸室の空調設備などの整備も併せて検討します。

② 耐震性能

【機能の考え方】

- 避難所となることを踏まえ、施設の構造体、建築非構造部材、建築設備それぞれの耐震安全性を確保します。

4 運営の視点

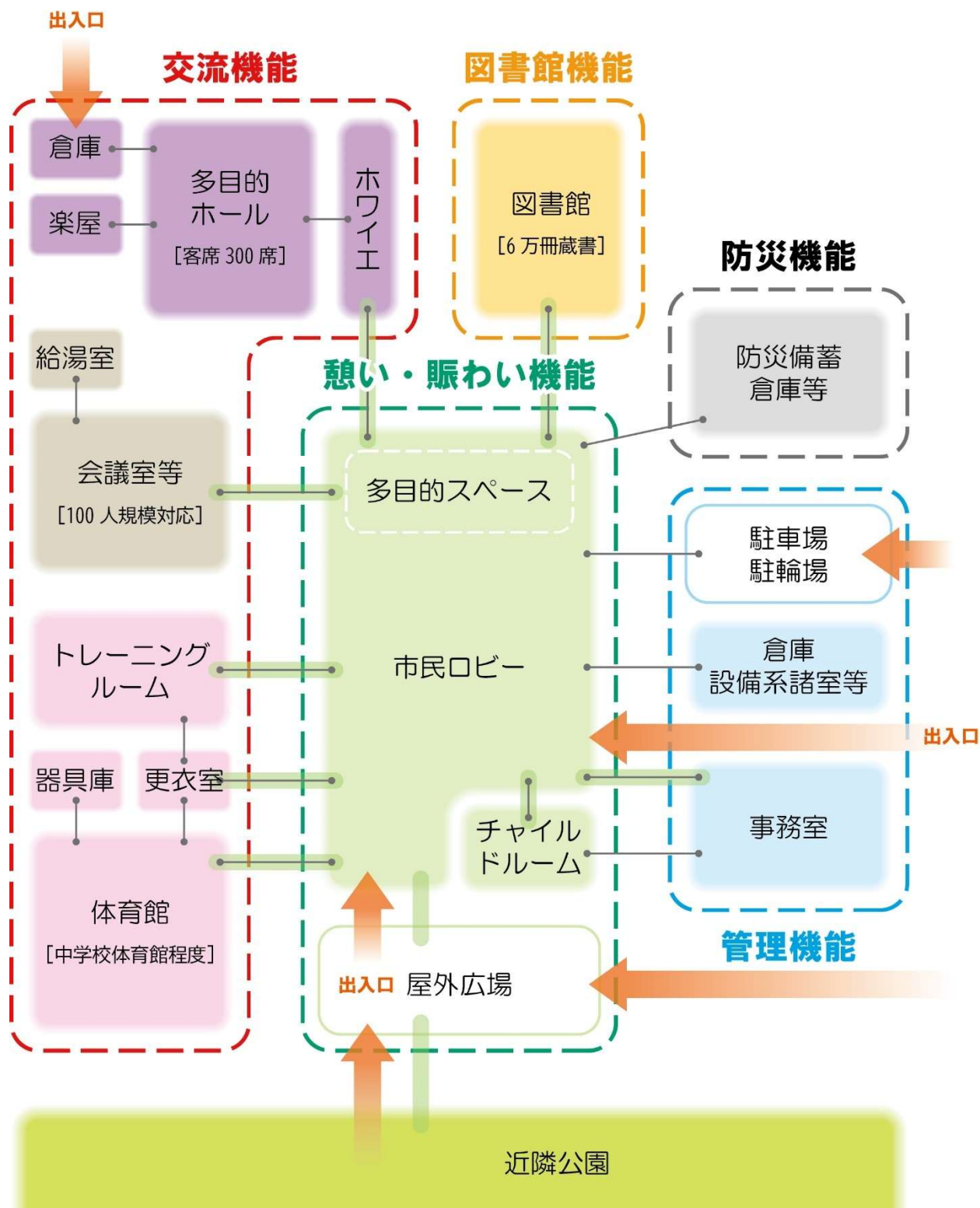
本施設では、時代のニーズに柔軟に対応し、民間事業者ならではのノウハウやリソースを活かした楽しみや魅力の向上、賑わいの創出を図り、効率的な管理運営が期待できる指定管理者制度などの活用を検討します。

また、地域交流センターと図書館分館が複合施設であることを活かした、相互の利用促進や効率的な施設運営などについて検討します。

魅力ある施設づくりのためには、様々な視点や専門性を取り入れることが重要であり、地域、民間事業者、大学、NPOなど様々な主体の協力を得ながら、多彩な事業を展開することも検討します。

併せて、他施設で実施している高齢者や子ども向けの事業等を本施設でも実施するなど、新たな出会いや賑わいを創出し、地域交流センターの役割を効果的に発揮できるよう検討します。

5 ゾーニング



IV 今後の検討事項

1 今後の検討事項

今後、基本計画の策定に向けて、次の事項を検討します。

1 施設配置や各諸室等の具体化

上述の基本的な考え方をもとに、施設配置、各諸室の規模や設備の性能、駐車台数などについて検討します。

2 利便施設の導入など

飲食や物販等の利便施設の導入の可能性について検討します。

また、情報技術の進展状況等を注視しながら、地域特性に応じたサービス提供に向けた取組みを検討します。

3 公園整備、治水施設

整備予定地の造成にあたって、本施設、近隣公園、治水施設が一体となった魅力的なエリアとなるよう検討します。

4 管理運営

地域交流センターの役割を効果的に発揮できる管理運営方式・内容を検討します。

5 最適事業手法

効率的で質の高い公共サービスの提供に向けて、PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）の可能性も含め、最適な事業手法を検討します。

6 交通アクセス

地域住民が気軽に利用できる施設とするため、交通アクセスの確保について検討します。

V 参考資料

- 1 既存の地域交流センターの概要
- 2 地域の意見

1 既存の地域交流センターの概要

① 博多南地域交流センター（愛称：「さざんぴあ博多」）

所在地	福岡市博多区南本町二丁目3-1
開館年月	平成12年1月
開館時間	9時～21時 ※多目的ホールは9時～22時、図書館分館は10時～18時
休館日	毎月最終月曜日（祝日の場合はその翌日）および年末年始 ※図書館分館は月曜日（祝日の場合はその翌平日）、月の末日（土・日・月・祝日の場合は翌平日）、年末年始

■建物概要

敷地面積	5,719 m ²
延床面積	5,964 m ²
構造・階数等	鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地下1階、地上3階 UR住宅と合築
用途地域	商業地域（容積率400%、建ぺい率80%）

■諸室構成

諸室名	面積	概要
多目的ホール	433 m ²	280席 控室や倉庫などを含む
ホワイエ	66 m ²	
会議室	271 m ²	2室（1室は3分割利用可）
和室	49 m ²	2室
体育館	1,005 m ²	更衣室、シャワー室などを含む
トレーニングルーム	212 m ²	ランニングマシンなど
図書館分館	563 m ²	蔵書数約7.6万冊（令和5年度末）
市民ロビー	481 m ²	
チャイルドルーム	39 m ²	
事務室	123 m ²	
その他共用部分等	2,722 m ²	トイレ、倉庫、機械室、廊下など
合計	5,964 m ²	

■外構

屋外広場（交流プラザ）	665 m ²
駐車場	65台

② 和白地域交流センター（愛称：「コミセンわじろ」）

所在地	福岡市東区和白丘一丁目 22-27
開館年月	平成 15 年 8 月
開館時間	9 時～21 時 ※多目的ホールは 9 時～22 時、図書館分館は 10 時～18 時
休館日	毎月最終月曜日（祝日の場合はその翌日）および年末年始 ※図書館分館は月曜日（祝日の場合はその翌平日）、月の末日（土・日・月・祝日の場合は翌平日）、年末年始

■建物概要

敷地面積	3,343 ㎡
延床面積	4,923 ㎡
構造・階数等	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄筋コンクリート造） 地上 6 階 J R 駅ビルと合築
用途地域	準工業地域（容積率 300%、建ぺい率 60%）

■諸室構成

諸室名	面積	概要
多目的ホール	603 ㎡	280 席 控室や倉庫などを含む
ホワイエ	69 ㎡	
会議室	178 ㎡	2 室（1 室は 3 分割利用可）
和室	60 ㎡	2 室
体育館	1,058 ㎡	更衣室、シャワー室、体育館事務室などを含む
トレーニングルーム	199 ㎡	ランニングマシーンなど
図書館分館	597 ㎡	蔵書数約 8.2 万冊（令和 5 年度末）
市民ロビー	209 ㎡	
チャイルドルーム	66 ㎡	
事務室	159 ㎡	
その他共用部分等	1,725 ㎡	トイレ、倉庫、機械室、廊下など
合計	4,923 ㎡	

■外構

駐車場	近隣駐車場を借上 （1 日 1 回 4 時間まで無料。収容台数は月極を除き 130 台）
-----	---

③ 西部地域交流センター（愛称：「さいとぴあ」）

所在地	福岡市西区西都二丁目 1 - 1
開館年月	平成 22 年 7 月
開館時間	9 時～21 時 ※多目的ホールは 9 時～22 時、図書館分館は 10 時～18 時
休館日	毎月最終月曜日（祝日の場合はその翌日）および年末年始 ※図書館分館は月曜日（祝日の場合はその翌平日）、月の末日（土・日・月・祝日の場合は翌平日）、年末年始

■建物概要

敷地面積	7,243 ㎡
延床面積	5,235 ㎡
構造・階数等	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上 3 階 西部出張所と合築
用途地域	商業地域（容積率 300%、建ぺい率 80%）

■諸室構成

諸室名	面積	概要
多目的ホール	920 ㎡	309 席 控室や倉庫などを含む
ホワイエ	129 ㎡	
会議室	248 ㎡	3 室（1 室は 2 分割利用可）
和室	27 ㎡	1 室
体育館	1,006 ㎡	更衣室、シャワー室などを含む
トレーニングルーム	230 ㎡	ランニングマシンなど
図書館分館	610 ㎡	蔵書数約 7.1 万冊（令和 5 年度末）
市民ロビー	119 ㎡	
チャイルドルーム	53 ㎡	
事務室	90 ㎡	体育館事務室を兼ねる
その他共用部分等	1,803 ㎡	トイレ、倉庫、機械室、廊下など
合計	5,235 ㎡	

■外構

屋外広場（交流プラザ）	231 ㎡
駐車場	73 台

④ 早良南地域交流センター（愛称：「ともてらす早良」）

所在地	福岡市早良区四箇田団地 9 - 1
開館年月	令和 3 年 11 月
開館時間	9 時～21 時 ※多目的ホールは 9 時～22 時、図書館分館は 9 時～20 時
休館日	毎月最終月曜日（祝日の場合はその翌日）および年末年始 ※図書館分館のみ祝日の場合は翌平日

■建物概要

敷地面積	10,797 m ²
延床面積	5,070 m ²
構造・階数	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上 2 階（一部 4 階）
用途地域	第一種中高層住居専用地域（容積率 100%、建ぺい率 60%）

■諸室構成

諸室名	面積	概要
多目的ホール	877 m ²	302 席 控室や倉庫などを含む
ホワイエ	206 m ²	
会議室	248 m ²	2 室（1 室は 3 分割利用可）
和室	40 m ²	1 室
練習室	149 m ²	2 室
図書館分館	672 m ²	蔵書数約 6.2 万冊（令和 5 年度末）
市民ロビー	489 m ²	
チャイルドルーム	140 m ²	
事務室	118 m ²	
その他共用部分等	2,131 m ²	介護相談窓口、トイレ、倉庫、機械室、廊下など
合計	5,070 m ²	

■外構

屋外広場（交流プラザ）	200 m ²
駐車場	240 台

2 地域の意見

南区自治組織協議会向けに早良南地域交流センターの見学会を実施するとともに、4回の意見交換会を通じて、新しい地域交流センターをどのような地域活動に活用することが考えられるかなど、次のとおりご意見をいただきました。

① 多目的ホール

○全体的なこと
・新しいイベントの立ち上げなど活発な地域活動が見込まれる
○活用方法
・発表会 公民館サークル、校区サークル（ダンス、体操、唱歌等）、文化祭、カラオケ大会、中学校音楽部演奏 ・説明会やWEBセミナーなど（数百人規模） ・映画鑑賞　ダンス、ヨガ ・町内子供育成会が減少しており複数校区合同での催し会 ・通常の用途以外に避難所活用
○設備など
・可動式の椅子（多目的に使えるので良い） ・防音、ライブ配信設備、壁は白（プロジェクターがどこでも映る）、飲み物可にしてほしい ・一部客席を親子室にしてほしい ・控室はパーテーションで分けられるようにしてほしい

② 会議室

○全体的なこと
・各種団体の活動の活性化、地域を越えての活動になくてはならない
○活用方法
・校区サークル等の会議、講演会、教室（スマホ、パソコン、料理） ・住民に小中高校生、大学生の作品を発信する
○設備など
・間仕切りを使って中・小会議室に転用できる大会議室 ・個々は狭くとも間仕切で多くの部屋ができるといい ・パーテーションで仕切っても音漏れがしないようにしてほしい ・キッチン（料理教室ができるもの） ・スクリーン、プロジェクター、マイク、パソコン、タブレット等 ・インターネット設備、Wi-Fi 環境、ZOOM対応、パソコンの電源 ・ワーキングスペース

③ 和室

○活用方法
・校区の着物サークルの活動 ・茶道愛好家の活動、床の間に区民の作品が飾れるようにしてほしい ・舞踊や詩吟、謡（公民館は狭く時間制限で十分活動できない） ・避難所としての活用（和室は広くして高齢者の避難所として活用する）
○設備など
・茶道教室ができるような設備・用具、姿見鏡 ・段差のないようにしてほしい ・立礼による茶道も多いので置き畳にすると利用が広がる

④ 体育館

○全体的なこと
・スポーツを通じての交流はまちづくりに欠かせない
○活用方法
・他校区との交流大会、校区スポーツサークルの練習、試合 ・公民館サークルの武道や空手道 ・学校の部活 ・成人のバレーボール等の同好会（小中学校の体育館は子供たちが優先利用）
○設備など
・バレーボール・バドミントン・バスケットボール・卓球・体操等の室内競技用設備、用具 ・バスケットボール、バレーボール競技が1面取れる広さにしてほしい ・観客が周囲に座れるようにしてほしい ・冷暖房設備、サウナ ・トレーニングマシン、スポーツ指導者が常駐しているといい ・避難所開設を見据え、複数のシャワー室を設置してほしい

⑤ 図書館

○全体的なこと
・近くに図書館があるメリットは言うまでもないのでぜひ設置してほしい ・あらゆるジャンルの本に囲まれて1日を過ごせる図書館にほしい ・地域一体が文教にも交流ネットを持っており、一層の活動のスペースとして期待できる
○活用方法
・図書館内に学習スペースがある方が望ましい ・カフェスペース ・特色ある漫画、アニメに特化した図書館（若者の利用が増す）
○設備など
・本の種類分けを検討してほしい ・子どもから大人までが利用できる館内設計及び蔵書設備を検討してほしい ・リラックスできるようにクッションなどを置いてほしい ・本を介して有機的な利用ができる設備（読み聞かせやシアターなど）を検討してほしい

⑥ 市民ロビースペース

○全体的なこと
・くつろぎ空間として可能な限りゆとりある設計にほしい ・あたたかい感じのスペース、自由に出入りのできる交流の場にしてほしい ・誰でも気軽に立ち寄れる場所にしてほしい（バリアフリー）
○活用方法
・中高生を含む子供たちの居場所 ・学習スペース ・カフェスペース ・小さなイベント（ロビーコンサートなど）、市民作品の展示 ・情報コーナー、情報発信 ・人々が集うきっかけとなるような南区25校区の特色を紹介する発信映像エリアがほしい ・授乳室
○設備など
・開放感のある吹き抜け空間がいい ・学習スペースは一人用のテーブル椅子があるといい ・情報発信の設備

⑦ 屋外広場

○全体的なこと
・ 本館と一体化して使えるような広場にしてほしい ・ 災害時の対応からも屋外広場は広いほど望ましい
○活用方法
・ 作業所などの商品の販売 ・ 青少年育成会の活動 ・ ハロウィン大会等（公園で行っているが、更衣室もなく困っている） ・ ガーデンシティのような裸足で遊べるような広場にしてほしい
○設備など
・ 防災設備（マンホールトイレ、かまどベンチなど） ・ マルシェ等に対応した水道、電気設備 ・ 寒い時のためにキャナルシティにあるような街灯ストーブを設置してほしい ・ ドッグラン ・ 日かげスペース（シャワーミスト）、水場のある癒し空間がほしい

⑧ 上記区分以外

○全体的なこと
・ 時代の流れを見て、区役所のリモート窓口、クーリングシェルター、災害時避難機能などを検討してほしい ・ バリアフリーにするとともに、通路を広くしてほしい
○設備など
・ トイレは、女性用の数を多くし、男性用トイレにオムツ用汚物入れを設置してほしい ・ 地域子育て相談窓口機能を備えた、未就学児が親子でゆっくり過ごせる子どもルームを設置してほしい ・ 役所の手続きができるような窓口を小規模でも一緒に設置してほしい ・ 地下室核シェルター（防空壕）

